

第2回大船渡市津波避難対策検討会議 会議録

1 日 時 令和7年1月9日(木) 10時から12時まで

2 場 所 大船渡市役所 第1会議室

3 出席者 別添委員名簿のとおり

4 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 協議

(1) 自動車避難のあり方の検討について

(2) 事業従事者の対策の検討について

(3) 観光客等の地理不案内者の避難対策の検討について

(4) 実行に向けた取組スケジュールの検討について

4 その他

5 閉会

5 議事要旨

(1) 協議

ア 自動車避難のあり方の検討について

(ア) 事務局から資料1及び3に基づき、説明を行った。

(イ) 委員から下記のとおり意見等があった。

- ・車両の乗り捨て場所について、公的施設だけでなく、民間事業者所有のオープンスペースを活用すべきであるとする。
- ・車両乗り捨て場所について、避難場所ではないことの周知が重要である。
- ・車避難でなく、徒歩避難が原則であることの周知を徹底してほしい。
- ・車避難の検討には、避難先の駐車可能台数などの把握が必要だと考える。

イ 事業従事者の対策の検討について

(ア) 事務局から、資料1、資料3及び追加資料に基づき、説明を行った。

(イ) 委員から下記のとおり意見等があった。

- ・各事業所の好事例などを広報紙等で共有したほうが良いと考える。
- ・津波避難の取組に協力いただける事業所を登録することによって、各事業所の取組に対する頑張りを後押しする効果があるとする。

ウ 観光客等の地理不案内者の避難対策の検討について

(ア) 事務局から、資料1及び3に基づき、説明を行った。

(イ) 委員から下記のとおり意見等があった。

- ・観光客の視点からだと海や標識が見えにくいと感じるため、観光客の視点を意識した取組を行ってほしい。
- ・J-ALERTの災害時の運用について、告知の方法を検討した方がよいと考える。
- ・標識について、津波避難の誘導標識は世界各国で様式は共通であるが、避難場所の標識については、国によって様式が異なるので注意が必要だと考える。

エ 実行に向けた取組スケジュールの検討について

(ア) 事務局から資料1に基づき、説明を行った。

(イ) 委員から下記のとおり意見等があった。

- ・避難訓練の周知について、3年かけるのではなく、周知は1年間とし、その後で
きるところから取り組んだ方が良いと考える。
- ・市だけで行うのではなく、一部業務をアウトソースしても良いと考える。
- ・公共サービスとして市の事業ではあるが、一部は受益者に対してコストを徴収す
ることも検討し、実現性を考えてもよいと考える。

(2) その他

- ・質疑等はなかった。